



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2016~2017年度クラブテーマ
会長 岩上 義明

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1390 / 2016. 12. 02

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「未来に向かって 皆で一歩前へ進もう！」

●本日の例会/ 2016年 12月 2日 第1421回
卓話：「日米同盟の日常風景」
在日米国大使館員 ジェシカ・バーロウ 氏

●前回報告／2016年 11月 25日 第1420回例会
卓話：「中東から見た日本」
久留米大学教授
元外務省中東2課長 宮原 信孝 氏



紹介者：畠中会員

会長報告：

①2/22(水)は地区大会です。来週、河邊幹事よりご案内いたします。手帳に予定入れておいてください。
②1/15 国立オリンピック記念青少年総合センターで、青少年交換新年懇親会がございます。参加できる方は是非ご参加ください。

11月25日 9件 18,000円
累計 621,500円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

岩上義明/宮原様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。
小林博茂/河邊大幹事が今日は欠席ですので、代役幹事を務めます。皆さん質問等なしでお願いします。西澤民夫/12月にシンガポールへ行ってきます。土屋東一/宮原さん卓話を楽しみにしております。尾関武男/本日、宮原様の卓話宜しくお願ひ致します。清水實/宮原様、卓話楽しみです。ニコニコ担当は今いませんがご苦労様。熊本誠司/23日から伊豆ヘゴルフに出かけました。雪の予報が出ていてスタッドレスにタイヤを交換して行きました。魏さんニコニコお疲れ様です。
藤井万博/魏さんニコニコ代理お引き受け下さり有難うございました。永滋康/宮原先生、本日の卓話楽しみにしております。

出席報告：会員 55名 / 出席 29名 欠席 26名

ゲスト：宮原信孝（卓話）

ビジター：菅野谷信宏(東京蒲田RC)

計2名 (敬称略)

Member's Voice

めんぼう NO. 107

清水 實

読書について

昔から本は好きでよく読んだ。中学の頃、夏目漱石の小説はすべて読んだ。まあ家に漱石全集があったからだが。今改めて読むと全く別の印象があるようだがなかなか読み直しはできない。新聞小説もよく読んだ。古くは井上靖の『冰壁』、阿川弘之の『ぼんこつ』(阿川弘之は学生の頃荻窪の私の母の実家に下宿していた。) 最近では渡辺淳一の『失楽園』まで。我が家では今、日経と東京新聞を取っているが朝夕刊合わせると新聞小説4作を読まねばならない。

全くの乱読で系統だって読んだりしないが、気に入るとのめりこんで読む。一時はよく本を買ったが置き場所の問題もあり、最近はもっぱら図書館。家から5~6分の杉並中央図書館には2~3週間に1回本4~5冊とCD2枚を借り換えるのが習慣になっている。借りた本で本当に気に入った本があると購入する。最近では50冊に1冊くらいか?

一時は池波正太郎にこって剣客商売、梅安、鬼平犯科帳等よく読んだが一番印象に残っているのは『真田太平記』、今自宅にあるのは『池波正太郎のそざい料理帖』とか『鬼平・梅安食物帳』くらい。

図書館といえば購入をリクエストすると買ってくれるところだ。私は知人が本を著したりすると図書館にリクエストして買ってもらう。わがクラブにも卓話に来てもらったことがある、ウィーン在住の野村三郎氏の『ウィーン・フィルハーモニー』とか中学高校で一緒だった友人の田中康雄の『江戸商家・商人名データ総覧』(三井文庫)なる本も購入してもらった。全7巻で20~30万円だったか。

一時よく読んだ作家に佐野洋子がいる。気に入った彼女の本『私の猫たち許してほしい』を、会社で部門が変わり、送別会をしてくれたお礼に贈呈するため40冊ほど買ったら、『ご親戚ですか?』と言われたこともある。佐野洋子の本は結構自宅に多い。『アカシア・からたち・麦畑』『乙女ちゃん』『ふつうがえらい』・・・

先日の火曜会のテーマはこの秋お薦めの本だったが、私のお薦めの本は久世光彦の『歌が街を照らした時代』この本は『マイ・ラスト・ソング』を書いていた久世光彦(テルヒコと読みます)が急逝して、最近奥様がまとめられたもの。久世の『マイ・ラスト・ソング』もおすすめ。マイ・ラスト・ソングとは死ぬ間際にたった1曲聴けるとしたら何を選ぶ?というもの。私の場合は多田武彦の男声合唱組曲『雨』の終曲『雨』(八木重吉)です。葬式でもながしてもらう。(遺言)

第3回クラブ協議会(11/18)

(日 時) 2016年11月18日(金) 13:10~14:30
(ところ) ANA インターコンチネンタルホテル東京 37F「アリエス」
(テーマ)『奉仕プロジェクトについて』

司会: 河邊 幹事

1. 会長挨拶

今日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。これから協議会をはじめたいと思います。よろしくお願ひ致します。

2. 奉仕活動について

村山会員

1905年にポールハリスとその仲間4人で始めたのがロータリークラブです。その当時の綱領には、シカゴが荒んでいたこともあり友達をつくりたいと親睦をメインとして、互恵取引が入っておりました。その後反対意見もあり、わずか1年で3つ目の社会貢献の項目が加えられました。互恵取引については急速に下火になり、親睦と社会貢献がメインとなりました。A. F. シエルドンは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」これが一番大事な目的だと訴えており、当時の国際大会で賞賛されています。同じ時期にB・フランク・コリンズが「超我的奉仕(Service Above Self)」を提唱しました。ロータリークラブが設立されてわずか10年の間の出来事です。このようにロータリーは精神的な研究が進んでいき、どんどん拡大していきます。クラブをまとめる組織を作ることになり反対意見もあったが、クラブは連合会の下にあるわけではなく、クラブは独立した存在だとハッキリと示すことにより、1912年に今のRIである国際ロータリー連合会ができました。

最初に社会奉仕が行われたのは、1907年にシカゴに公衆便所を作りました。その後、社会奉仕が広まります。現在のRIは社会奉仕を全面に出していくという考え方と、一方ではそうでもないという考えがあるようです。私は社会奉仕、青少年奉仕など奉仕活動は一体で、別々にやる必要はないと考えております。当クラブは以前、アイメイト協会で盲導犬を1頭育てるための寄付をしており、その時には盲導犬を連れて小学校へ行ったりしました。これは社会奉仕と青少年奉仕が一体化したことですので、こういったことも議論していただければと思います。もう1つ疑問があり、ボリオについては寄付するようにという活動が活発ですが、こんなに頑張らなくても良いのではと思っております。こういったことについても皆様にも考えていただければと思います。

3. 奉仕プロジェクト委員会 島本委員長

奉仕が重要な目的の1つだということで、良い機会をいただいたと思います。知られていない活動もあると思いますので、各リーダーから報告いただきたいと思います。また赤坂らしい活動を考えていってもよいのかとも思っております。

(1) 社会奉仕 (代理:島本委員長)

今年の活動としては、赤坂見附駅前へベンチを設置しました。他のクラブを参考にしたところプロジェクト的に体を使って奉仕をするやり方と、単純に寄付をすることの2つがあります。全体的としてみると地域との関わりを重視しているほうが分かりやすいと感じました。今回は赤坂見附駅へのベンチの寄付はわかりやすいと感じました。風の子会の「外に出よう」についてですが、ボランティアに参加されている方の高齢化と障害者の方の減少といったこともありますが、形骸化している部分もあると思います。おそらく赤坂ロータリーが手を引いてしまうと、このプロジェクトがなくなることが考えられるため、プロジェクトの存続について検討をしていきたいと思います

(2) 職業奉仕 (藤井(宏)リーダー)

1月に職業奉仕月間があるため2月5日に地区の職業奉仕委員長の蓮池様へ卓話をお願ひしています。親睦旅行に合わせて、職業奉仕に關係して見学を考えており佐久間さんと検討しています。皆様に楽しんでいただける企画を考えていきたいと思います。もう1つは12月のインターナショナルの参加があります。

(3) 国際奉仕 (張宇リーダー)

30周年記念をきっかけに海外のクラブと交流していきたい。公山城RCとの親睦を図る。国際大会で海外クラブとの交流をする。の3つを考えています。国際奉仕に関しては、皆さんのご意見をお聞きしながら頑張っていきたいと思います。

(4) 青少年 (代理:熊本委員)

ルイーズさんは大学3年から日本に留学をしたいということで、通っている大学では日本との単位の交換ができる大学がないとのことで相談を受けております。どうなるかわかりませんが、協力していきたと思います。今年度は千代田グループではメキシコからのマリアさんという女性が来日しました。新橋RCがカウンセラーをしています。当クラブの畠中さんと齊藤さんがホストファミリーをお引き受けくださいました。青少年交換は歴史もあり国際親善にも役に立つプログラムでもあるので、千代田グループは前向きに検討していきたいと思います。

(5) クラブ奉仕 (熊本リーダー)

新会員も多く入ってきましたので、せっかくロータリーに入ったので広く目を向けて他のクラブとの交流も深めればと思っており、クラブ奉仕の委員が皆さんと一緒にマイアップで他クラブへ行くことを考えております。

(6) 奉仕プロジェクトの今後 (島本委員長)

赤坂RCの今後の奉仕プロジェクトについて考えていくために、参考までに他のクラブのプロジェクトを紹介します。3つのカテゴリーにわかれています。1つ目はコンサルタントがおりそれに属して活動している、2つ目が実際に手足を動かして活動している、3つ目が単純に寄付をする。体を使った奉仕の例として、東京新橋RCの作文コンクールがあり、港区内の小中学生の作文をロータリーのメンバーで選ぶ活動や、地域色がでている例としては築地RCでは小中学生を集めて箸教室や、ゴミ拾いを行っています。田園調布RCでは小学生に昔遊びを伝授する活動や、京浜RCでは行政とのタイアップでクリーンアップ活動を行っていたり、渋谷RCではパトロール活動を行っていました。地域での活動が目立っており、赤坂でもそういう活動を考えていくのも良いのではと思いました。単純に寄付活動ですと、新橋RCがゆりかもめ駅前のプランターの植栽を寄付したり、銀座RCでは掃除を実施したうえで掃除用具を寄付したり、花壇の草花を寄付したりしております。赤坂RCの奉仕活動は、ベンチ以外だと風の子会だけになってしまいます。風の子会をどうするかも含め他にも考えても良いのかとも思います。せっかく赤坂という名がつくので、赤坂らしい活動を行政とのタイアップで考えても良いように思います。風の子会の「外に出よう」という活動は、障害者の方の車いすを押しながら都内各所を1日かけて周っていくという活動で、それにより車いすの方の便利・不便なところが見てて大変意味のあることだと思いますが、だんだん人数も少くなり、今後の活動について検討していくかなければならないと思っています。

(次回へ続く)

● 次回予告 / 2016年12月9日 第1422回例会

卓話:「魅了する話術と話法」落語家 三遊亭 歌太郎 氏